



## 2023年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年3月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アイル

コード番号 3854 URL <https://www.ill.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小倉 直子 TEL 06-6292-1170

四半期報告書提出予定日 2023年3月14日 配当支払開始予定日 2023年4月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年7月期第2四半期の連結業績（2022年8月1日～2023年1月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期第2四半期	7,591	25.6	1,659	95.8	1,672	94.6	1,105	96.0
2022年7月期第2四半期	6,045	—	847	—	859	—	563	—

(注) 包括利益 2023年7月期第2四半期 1,101百万円 (96.0%) 2022年7月期第2四半期 562百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年7月期第2四半期	44.15	—
2022年7月期第2四半期	22.53	—

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年7月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。このため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年7月期第2四半期	10,497	6,566	62.6
2022年7月期	9,576	5,715	59.7

(参考) 自己資本 2023年7月期第2四半期 6,566百万円 2022年7月期 5,715百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年7月期	—	8.00	—	10.00	18.00
2023年7月期	—	11.00	—	—	—
2023年7月期（予想）	—	—	—	14.00	25.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2 2023年2月24日付で「第2四半期及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」を開示し、配当予想を修正しております。

3. 2023年7月期の連結業績予想（2022年8月1日～2023年7月31日）

（％表示は、対前期増減率）

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	15,000	15.9	3,100	47.6	3,126	47.4	2,044	48.3	81.65

（注）1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2 2023年7月期の業績予想は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等について、現時点で想定される影響を見込んで算定しております。なお、2023年2月24日付で「2023年7月期第2四半期（累計）連結業績予想及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」を開示し、2023年7月期の業績予想を修正しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年7月期2Q	25,042,528株	2022年7月期	25,042,528株
② 期末自己株式数	2023年7月期2Q	9,419株	2022年7月期	8,574株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年7月期2Q	25,033,439株	2022年7月期2Q	25,034,995株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年8月1日～2023年1月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種政策の効果もあり、個人の消費等は緩やかに持ち直しの動きが見られます。ただし、長期化するウクライナ情勢等による不透明感が増す中、原材料の価格上昇や金融資本市場の変動等による経済への影響に対し、引き続き注視する必要があります。

当社グループが属する情報サービス業界においては、新型コロナウイルス感染症の再拡大等により、ソフトウェアに対する投資において、影響が出る可能性があります。

このような状況のもと、当社グループは、ITの有効活用が必要な中堅・中小企業顧客の経営課題を解決するための商材を「リアル」と「Web」の両面から開発・提案し、顧客の企業力強化を図ることを「CROSS-OVER シナジー」戦略とし取り組んでまいりました。

「CROSS-OVER シナジー」戦略は、当社グループが提唱してきた独自の提案スタイルで、「リアル」と「Web」それぞれの商材を複合的に提案することで、顧客の業務効率と販売力強化を実現するものであり、当社グループにとって商談時の競合力を強化するだけでなく、顧客満足度も向上させるものであります。この戦略効果により、当社グループが重視するストック型ビジネス商材の販売実績が大きく伸長し、利益体質の強化が図られております。

販売実績につきましては、「リアル」面では、主力のパッケージソフトウェア「アラジンオフィス」の商品力の強化を、業種別に継続して進め、販売面でもパートナー企業との連携に加え、コロナ禍においては、Web会議を利用した打合せ等を積極的に行うことにより、豊富な業種別の導入事例をもとに顧客毎に最適なシステム活用方法をご提案させていただくことで、受注実績も堅調に推移いたしました。

収益面につきましても、前連結会計年度における半導体不足によるサーバー機器の納品遅延の影響の解消等により売上高は増加いたしました。また、ストック売上高の増加やパッケージの機能強化による売上総利益率の向上等により各段階利益も前四半期連結累計期間の業績を上回る結果となりました。

「Web」面では、複数ネットショップ一元管理ソフトである「CROSS MALL」について、新たなショッピングモールとの連携開発を当期も継続して取り組んでまいりました。今後も引き続き、複数モールとの連携機能強化を行うとともに、既存の顧客から機能面における要望を収集し、迅速に新機能として反映させることで、商品力を向上させ販売実績を伸ばしてまいります。また、ネットショップと実店舗のポイント・顧客一元管理ソフトである「CROSS POINT」につきましても、販売実績を伸ばしております。

当四半期連結累計期間においても、継続して製品の開発に注力しており、将来における新たな技術開発による市場競争力向上に向け、研究開発費34,828千円を計上しております。島根県松江市の研究開発拠点である「アイル松江ラボ」においては、プログラミング言語「Ruby」によるシステム強化の活動を本格的に始動しており、今後も研究開発人員を増加し、研究開発活動の強化を図ってまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は売上高7,591,235千円(前年同期比25.6%増)、営業利益1,659,297千円(前年同期比95.8%増)、経常利益1,672,825千円(前年同期比94.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,105,344千円(前年同期比96.0%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べて920,734千円増加し、10,497,572千円となりました。これは主に、ソフトウェア183,681千円等が減少した一方、現金及び預金519,654千円、受取手形、売掛金及び契約資産257,271千円、商品107,592千円、ソフトウェア仮勘定197,976千円等が増加したことによります。

また、負債合計は、前連結会計年度末と比べて69,755千円増加し、3,931,202千円となりました。これは主に、流動負債の「その他」に含まれる未払金59,751千円、未払費用74,351千円等が減少した一方、流動負債の「その他」に含まれる未払消費税等184,447千円等が増加したことによります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて850,978千円増加し、6,566,369千円となりました。これは主に、剰余金の配当250,339千円による減少があった一方、親会社株主に帰属する四半期純利益1,105,344千円等による増加があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年9月7日に公表しました2023年7月期第2四半期(累計)連結業績予想及び連結業績予想につき、2023年2月24日発表の「2023年7月期第2四半期(累計)連結業績予想及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しております。詳細は該当開示資料をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,640,173	4,159,828
受取手形、売掛金及び契約資産	3,223,530	3,480,802
商品	228,508	336,100
仕掛品	15,521	17,640
その他	144,479	152,403
貸倒引当金	△2,350	△2,760
流動資産合計	7,249,863	8,144,015
固定資産		
有形固定資産	464,869	478,168
無形固定資産		
ソフトウェア	512,403	328,722
ソフトウェア仮勘定	313,823	511,800
その他	1,739	1,739
無形固定資産合計	827,966	842,262
投資その他の資産		
繰延税金資産	440,877	437,674
その他	593,863	597,165
貸倒引当金	△603	△1,714
投資その他の資産合計	1,034,137	1,033,125
固定資産合計	2,326,973	2,353,556
資産合計	9,576,837	10,497,572
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	466,354	476,316
未払法人税等	588,360	598,796
賞与引当金	89,500	94,000
製品保証引当金	23,686	14,842
その他	966,417	941,748
流動負債合計	2,134,318	2,125,704
固定負債		
退職給付に係る負債	1,148,449	1,196,561
役員退職慰労引当金	404,250	433,774
資産除去債務	174,428	175,162
固定負債合計	1,727,129	1,805,498
負債合計	3,861,447	3,931,202

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	354,673	354,673
資本剰余金	319,673	319,673
利益剰余金	5,029,121	5,884,126
自己株式	△9,997	△10,080
株主資本合計	5,693,472	6,548,394
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	21,918	17,974
その他の包括利益累計額合計	21,918	17,974
純資産合計	5,715,390	6,566,369
負債純資産合計	9,576,837	10,497,572

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)
売上高	6,045,663	7,591,235
売上原価	2,917,491	3,455,201
売上総利益	3,128,172	4,136,034
販売費及び一般管理費	2,280,624	2,476,736
営業利益	847,547	1,659,297
営業外収益		
受取手数料	6,621	10,689
補助金収入	6,033	3,237
その他	231	80
営業外収益合計	12,885	14,006
営業外費用		
支払利息	607	439
その他	—	38
営業外費用合計	607	478
経常利益	859,825	1,672,825
特別利益		
受取保険金	2,577	—
特別利益合計	2,577	—
特別損失		
固定資産除却損	1,163	9
特別損失合計	1,163	9
税金等調整前四半期純利益	861,239	1,672,816
法人税、住民税及び事業税	350,128	562,529
法人税等調整額	△52,821	4,941
法人税等合計	297,307	567,471
四半期純利益	563,932	1,105,344
親会社株主に帰属する四半期純利益	563,932	1,105,344



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)
四半期純利益	563,932	1,105,344
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△1,866	△3,943
その他の包括利益合計	△1,866	△3,943
四半期包括利益	562,065	1,101,401
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	562,065	1,101,401
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。